

令和7年度第1回島根県地域職業能力開発促進協議会議事要旨

令和7年11月5日(水)13:30～15:30

松江地方合同庁舎5階共用第4会議室

【出席者】

「令和7年度第1回島根県地域職業能力開発促進協議会出席者名簿」のとおり

【議事次第】

「協議会次第」のとおり

【議論概要】 ※ ○＝事務局側発言概要 ●＝委員側発言概要

1 島根労働局長あいさつ

開会にあたり、岩見島根労働局長より挨拶。

- 現在、県内の有効求人倍率は全国平均を上回っており、多くの業種で人材不足の傾向が続いている。国としても、リスクリングによる人材育成やデジタル分野を中心とした成長分野への支援を強化しており、本年10月からは教育訓練休暇給付金やリスクリング等教育訓練支援融資制度が創設されたところである。
- 本協議会では、こうした国の方針を踏まえ、地域における職業訓練の現状や課題、今後の方向性について、委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴し、島根県や関係機関の皆様と密接に連携させていただきながら、地域の実情に即した「求められる人材」の育成確保に向けて、より効果的な職業訓練の推進に努めたい。限られた時間ではあるが、活発な議論をお願い申し上げる。

2 ワーキンググループ改善案の報告

- IT・デジタル・事務分野に関する訓練の改善に向けたヒアリング結果および改善案について説明。【資料No.1－4】
- 質疑なし。

3 公的職業訓練の実施状況について

- 島根労働局から令和6年度島根県公的職業訓練の実績を説明。【資料No.2-1】
- 島根県雇用政策課から公的職業訓練の実績、障害者委託訓練におけるPDCA評価の実績について説明。【資料No.2-2～2-3】
- （独）高齢・障害・求職者雇用支援機構島根支部から公的職業訓練の実績を説明【資料No.2-4】

4 地域の人材ニーズの把握について

- 島根労働局から直近の島根の雇用情勢について説明。【資料No.3-1】
- 島根県雇用政策課から島根県の人材育成施策、地域のリスクリング推進事業について説明。【資料No.3-2、3-3】
- 株式会社パソナから民間職業紹介事業者としての意見および厚生労働省委託事業「キャリア形成・リスクリング推進事業」について説明。【資料No.3-4、3-5】

【各委員から地域の人材ニーズについての意見】

- 今年の取組については非常にうまくいっている印象を持って報告を聞いた。会議で、人手不足なのか人材不足なのかを考えていたが、重要なのは今いる人たちが力を発揮できるようにすることであり、その意味で訓練やリスクリングの役割は大きいと感じた。
- 日本は労働生産性が先進国の中でも低いと言われるが、30%程度は上げられる可能性があるという話もある。島根県でも、生産性向上の視点から訓練の効果を捉え、今後は、こうした取組を導入した企業でどの程度力が引き上がったのかを指標として示していくことも必要ではないかと思う。
- 今回の報告を聞き、国や県、労働局を含め、しっかりと推進されていると実感した。経営者の DX リテラシーを高める必要性を感じており、新たに加入したスタートアップ企業 4 社と連携し、会員企業向けに DX セミナーを 3 回に分けて開催する予定である。
- 経営者は DX の言葉は知っているが、何をどう進めればよいのか具体的に掴めていないことが多い。知識の提供だけでなく、寄り添いながら進めないと DX 化は進まないと考えている。また、最低賃金の上昇や人手不足の中、研修に人を送り出す余裕がない企業も多く、まずは経営者の意識を変えることが重要である。DX はまだ“言葉だけ”の段階にある面もあるが、リテラシーを高めるところから始める必要があると考えている。

5 令和 8 年度地域職業訓練実施計画策定に向けた方針案について

- 事務局から令和 8 年度全国職業訓練実施計画策定に向けた方針案および令和 8 年度島根県職業訓練実施計画策定に向けた方針案について説明。【資料No.4-1～4-3】
- 各委員から反対意見なく了承。

6 その他

- 事務局から教育訓練給付制度の指定講座の状況等について説明。【資料No.5】

【協議会全体を通して委員から以下のような意見】

- ここ 10 年ほど、人手不足の業界は変わっておらず、島根県では特に介護と建設が慢性的な人材不足にある。この 2 業界は地域を支える重要な産業であり、訓練の PR を重点的に進めてほしい。
- PR には、資格取得や就職時の賃金、雇用の安定性など、受講につながるインセンティブの提示が必要ではないか。介護・建設分野の人材確保に向けて、訓練や広報の工夫が求められると考えている。

○今、介護や建設は人手不足の分野なので、資格を取れば賃金が高いといった情報をいかに伝えるかが重要だと考える。労働局でもハローワークで訓練受講を案内する際、こういう分野ならこういう賃金、またこの訓練や資格で賃金が上昇する可能性があるといった説明を窓口で行い、訓練受講のメリットをきちんと示すようにしている。最終的に就職に向けて頑張ってもらえるよう、厚労省としても重要だと言われている点をしっかり取り組んでいきたい。

7 閉会あいさつ

閉会にあたり、島根県商工労働部雇用政策課長より挨拶。

- 我々は今後を見据え、在職者や求職者に対して地域産業のニーズに応える人材育成を推進していかなければならないと考えている。多数のコースを設けているが、報告の中でもあったように、なかなか充足していないコースもある。ワーキンググループの報告であった動画作成などを活用し、学びたい方の機会の損失にならないよう PR し、十分に利用してもらえるようにしていく必要があると考える。
- こうしたワーキンググループの訓練結果の検証を参考に実施計画を策定し、職業訓練の充実を図ってまいりたい。訓練を実施していく上で関係機関の皆様の協力は不可欠であり、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。